

施設及び指定管理者の状況

1 施設

(1) 名称	和歌山県和歌山マリーナ（クルーザーマリーナ）	
(2) 所在地	和歌山市毛見1530番地	
(3) 電話番号	073-441-8888	
(4) ホームページ	https://www.wakayamamarina.com/	
(5) 施設の目的	海洋性スポーツの振興及びレクリエーション活動の普及を図る	
(6) 根拠条例	和歌山県マリーナ条例	
(7) 所管課室	県土整備部 港湾空港局 港湾空港振興課	
(8) 施設が提供するサービス(施設・設備)	クルーザークラブハウス（鉄骨造、2階建、延床面積890.91㎡）、気象観測施設（風向、風速、気圧計）、無線施設（マリンVHF）、クルーザーボートヤード、クルーザーサービスバース（2箇所、係留延長300m）、上下架クレーン（2ウェイ、15トン・4.8トン）、クルーザープル（1台）、フォークリフト（1台）、洗艇場（4艇分）	
(9) 利用料金制	導入済	
(10) 施設の料金		
	項目	金額
	年間艇置場（陸上・海上）利用料	259,851 円～
	上下架施設利用料	1,320 円～
	係留施設一時利用料	2,200 円～
	シャワー、ロッカー	100 円

2 指定管理者

(1) 名称	和歌山マリーナ運営コンソーシアム					
(2) 所在地	岡山県岡山市中区江崎86番地の5					
(3) 代表者	武田 泰栄			(4) 電話番号	086-276-2121	
(5) 指定管理期間	始期	R4. 10. 1	終期	R7. 3. 31	期間	2. 5年
(6) 選定方法	公募 (公募選定の際の応募者数) 1 者					
(7) 職員配置	常勤	5 名	非常勤	0 名	合計	5 名
	有資格者	4 名	(資格名 小型船舶操縦免許、クレーン操作免許、 フォークリフト技能講習修了、 危険物取扱者免許、無線技士免許)			
(8) 指定管理料	令和	4 年度	-98,000 円			
	令和	3 年度	— 円			
	令和	2 年度	-1,832,000 円			

業務及び利用の状況

1 利用状況(代表的なものを3つ)

(1) 施設の利用状況を示す指標	(2) 左の数値 ※()は前回モニタリング時の数値
ア 保管艇数(隻)	77 (-)
イ 保管艇上下架(回)	364 (-)

2 仕様業務の実施状況

(1) 業務名称	(2) 左の実施状況
ボート保管業務	年間保管隻数 77隻
ボート上下架業務	年間合計数 364回

3 自主事業の実施状況

(1) 業務名称	(2) 左の実施状況
ボート整備	22件
船舶検査	7件
自動販売機	

収支の状況

1 収入

(1) 費目	(2) 金額
利用料金収入	¥19,464,518
計	¥19,464,518

2 支出

(1) 費目	(2) 金額
県への納入金	¥98,000
人件費	¥15,446,545
旅費交通費	¥253,890
消耗品費	¥2,279,989
光熱水費	¥1,374,080
燃料費	¥23,160
修繕費	¥700,607
通信費	¥187,172
広告宣伝費	¥1,177,000
保険料	¥1,051,479
清掃管理業務費、保守点検費	¥714,230
雑費	¥202,783
租税公課	¥47,773
計	¥23,556,708

3 収支（収入-支出）

¥-4,092,190

利用者アンケートの状況

1 アンケートの実施期間、方法及び有効回収数

(1) 実施期間	自	令和	4年	4月	1日
	至	令和	5年	3月	31日
(2) 実施方法	聞き取り方式			(3) 有効回収数	20人

2 アンケート結果

評価する主な意見	左を受けての対応等
<ul style="list-style-type: none"> ・清掃が行き届いたきれいな施設になった。 ・整備の技術が評価できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き利用者の期待や信頼に応える施設運営を行っていく。 ・整備に関して、今後も民営マリーナ施設運営のノウハウを最大限活用していく。
評価しない主な意見	左を受けての対応等
<ul style="list-style-type: none"> ・利用料金が高い。 ・女性用シャワールームが使えない。 ・艇置場料金が高くなった割に設備の不備が改善されない ・海上係留施設に電気と水道が無い。 ・大型艇が留められない。 ・県が管理する防波堤は釣り禁止となっているが、多くの釣り人がおり、とても迷惑している。(艇に仕掛けが絡まる、棧橋や艇に釣り餌が散乱している、プロペラに釣り糸が絡まる) ・海上係留施設の電気設備にて漏電、火災が起きたので対応してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県と修繕及び改修を要する箇所について情報共有し、必要な修繕を行った。 ・防波堤の釣り人に関しては見回りと注意喚起を行った。 ・電気設備の火災に関しては修繕を行った。今後の設備の状況により、対応策を検討していく。

重要業績評価指標（KPI）の達成状況

1 重要業績評価指標（KPI）

指標	目標値	実績	達成状況
係留保管船舶数(隻)	80	77	× (未達成)

2 目標達成に向けた取組

- ・ 4年度の活動で、マリーナを安定して運営できる基盤を作ることができた。
- ・ 関西最大のボートイベントである関西ボートショーやマリーナシティヨットクラブで開催される和歌山ボートショーへブース出展を行い、保管艇の募集を行っている。

3 目標未達成の場合の改善策等

- ・ 5年度からは和歌山マリーナを広く多くの方に知ってもらうため、広告宣伝活動に力を入れていく。
- ・ 和歌山マリーナを知る機会を作り、利用料や交通アクセス等の優位性をアピールする事で、保管隻数目標の達成を目指す。